

引用文献・参考資料

○引用文献

- 1) 河邊博史, 猿田享男: アルドステロン症、偽アルドステロン症 循環科学 16: 224-227 (1996)
- 2) 日本病院薬剤師会 編: 偽 (性) アルドステロン症 重大な副作用回避のための服薬指導情報集 (第1集) 薬業時報社 53-57 (1997)
- 3) グリチルリチン酸等による偽アルドステロン症、厚生労働省医薬品副作用情報 No. 29 (1978年2月)
- 4) Bruce J Loppmann. (高久史磨、細田攻 監訳): 水分・電解質の管理 カリウム、ワシントンマニュアル(7)、メディカル・サイエンス・インターナショナル 70-77 (1996)
- 5) 森本靖彦, 中島智子: 甘草製剤による偽アルドステロン症のわが国における現状 和漢医薬学会誌 8: 1-22 (1991)
- 6) 野畑俊介, 大平智明, 永江浩史, 他: 漢方薬による偽アルドステロン症を契機に発見された内分泌非活性副腎腫瘍の1例 泌尿紀要 47: 633-635 (2001)
- 7) 入江正洋, 十川博, 木原廣美, 他: 神経症性うつ病に併発したグリチルリチン少量投与による偽アルドステロン症の1例 内科 69: 795-799 (1992)
- 8) Vallotton MB. : Primary aldosteronism. Part II Differential diagnosis of primary hyperaldosteronism and pseudoaldosteronism. *Clin Endocrinol.* 45: 53-60 (1996)
- 9) 山本智秀, 大鶴昇, 宝来善次, 他: 甘草による pseudoaldosteronism の1症例 日内会誌 63: 1312-1317 (1974)
- 10) Conn JW, Rovner DR, Cohen EL. : Licorice-induced pseudoaldosteronism. *JAMA* 205: 492-496 (1968)
- 11) Moran JM, De Sancho JL, Abaigar P, et al. : Pseudoaldosteronism due to 9-alpha-fluoroprednisolone creams. *Clin Nephrol.* 22: 323-324 (1984)
- 12) Stewart PM, Wallace AM, Valentino R. : Mineralocorticoid activity of licorice: 11-beta hydroxysteroid dehydrogenase deficiency comes of age. *Lancet* 2: 821-823 (1987)
- 13) Funder JW, Pearce PT, Smith R, et al. : Mineralocorticoid action: target tissue specificity is enzyme, not receptor, mediated. *Science.* 242: 583-585 (1988)
- 14) 中野直子, 他: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法 (第2報) 一血中グリチルレチン酸、グリチルリチンの測定— 薬理と臨床 8: 4171 (1980)
- 15) 熊谷 朗, 他: グリチルリチンの電解質作用の機序とその予防に関する研究 薬理と治療 7: 2933 (1979)

- 16) 医療用医薬品添付文書情報に基づく日本漢方生薬製剤協会安全性委員会調査結果、平成18年3月
- 17) 中嶋千賀, 岸田堅, 大原せつ, 他: 心嚢液貯留を呈した甘草による偽性アルドステロン症の1例 ホルモンと臨床 52: 385-390 (2004)
- 18) 神田英輝, 桜井正樹, 有馬公伸: 甘草誘発性偽性アルドステロン症の1例 泌尿紀要 50: 215-217 (2004)
- 19) 北條行弘, 他: 小柴胡湯およびグリチルリチン併用により著明な低カリウム血症をきたした1例 診断と治療 84: 389 (1996)
- 20) 荒木恒敏: 小柴胡湯、強力ネオミノファーゲンシー併用中に低カリウム血症による心室細動をきたした1例 診断と治療 84: 877 (1996)
- 21) 坂田さつ紀: 悪性症候群死亡例 九州神経精神医学 44: 235-241 (1998)

○参考資料（学会報告等）

- 1) 富田 新, 他 (富山医科薬科大学第二内科): 横紋筋融解症を来した原発性アルドステロン症の一例 第26回日本腎臓学会西部学術大会 (1996年)
- 2) 今村義浩, 他 (九州厚生年金病院): 小柴胡湯の長期連用による著明な低K血症と心室性不整脈の1例 第64回循環器学会九州地方会 (1988年)
- 3) 田中晃久, 他 (大阪第二警察病院): 小柴胡湯により著明な横紋筋融解を来した偽性アルドステロン血症の一例 第148回日本内科学会近畿地方会 (1995年)
- 4) 成林葉子, 他 (愛仁会千船病院内科): 小柴胡湯と強ミノ併用による偽アルドステロン症により重篤な心室頻拍を生じた一症例 第151回日本内科学会近畿地方会 (1996年)
- 5) 浦濱善倫, 他 (春日井市民病院): 四肢麻痺を主徴として発見された小柴胡湯による低K血症の一症例 第176回日本内科学会東海地方会 (1998年)
- 6) 山口和将, 他 (公立昭和病院救急医学科): 意識障害として搬送された偽性 Bartter 症候群の2症例 第51回日本救急医学会関東地方会 (2001年)

参考1 薬事法第77条の4の2に基づく副作用報告件数（医薬品別）

○注意事項

1) 薬事法第77条の4の2の規定に基づき報告があったもののうち、報告の多い推定原因医薬品（原則として上位10位）を列記したもの。

注)「件数」とは、症例数ではなく、報告された副作用の延べ数を集計したもの。例えば、1症例で肝障害及び肺障害が報告された場合には、肝障害1件・肺障害1件として集計。

2) 薬事法に基づく副作用報告は、医薬品の副作用によるものと疑われる症例を報告するものであるが、医薬品との因果関係が認められないものや情報不足等により評価できないものも幅広く報告されている。

3) 報告件数の順位については、各医薬品の販売量が異なること、また使用法、使用頻度、併用医薬品、原疾患、合併症等が症例により異なるため、単純に比較できないことに留意すること。

4) 副作用名は、用語の統一のため、ICH 国際医薬用語集日本語版（MedDRA/J）ver. 9.1 に記載されている用語（Preferred Term：基本語）で表示している。

年度	副作用名	医薬品名	件数
平成16年度 (平成17年7月集計)	偽アルドステロン症	<small>しゃくやくかんぞうとう</small> 芍薬甘草湯	9
		グリチルリチン・DL-メチオン配合剤	9
		グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	2
		<small>かみしょうようさん</small> 加味逍遙散	1
		<small>けいし かじゅつぶとう</small> 桂枝加朮附湯	1
		<small>はんげしゃしんとう</small> 半夏瀉心湯	1
		<small>ぼういおうぎとう</small> 防己黄耆湯	1
	合計	24	
平成17年度 (平成18年10月集計)	偽アルドステロン症	グリチルリチン・DL-メチオン配合剤	8
		<small>しゃくやくかんぞうとう</small> 芍薬甘草湯	3
		カンゾウ抽出物・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	2
		カンゾウ末配合剤	1
		ロキソプロフェンナトリウム	1
		<small>けいし かじゅつぶとう</small> 桂枝加朮附湯	1
		<small>ぼうふうつうしょうさん</small> 防風通聖散	1
	合計	17	

※ 医薬品の販売名、添付文書の内容等を知りたい時は、このホームページにリンクしている独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報提供ホームページの、「添付文書情報」から検索することができます。

<http://www.info.pmda.go.jp/>

参考2 ICH 国際医薬用語集日本語版 (MedDRA/J) ver. 9.1 における主な関連用語一覧

日米EU医薬品規制調和国際会議 (ICH) において検討され、取りまとめられた「ICH国際医薬用語集 (MedDRA)」は、医薬品規制等に使用される医学用語 (副作用、効能・使用目的、医学的状态等) についての標準化を図ることを目的としたものであり、平成16年3月25日付薬食安発第0325001号・薬食審査発第0325032号厚生労働省医薬食品局安全対策課長・審査管理課長通知「「ICH国際医薬用語集日本語版 (MedDRA/J)」の使用について」により、薬事法に基づく副作用等報告において、その使用を推奨しているところである。

名称	英語名
○PT：基本語 (Preferred Term) 偽アルドステロン症	Pseudoaldosteronism
○LLT：下層語 (Lowest Level Term) 偽アルドステロン症	Pseudoaldosteronism